

カスタムカーショー**大阪オートメッセ 2019 に NAPAC
合同ブース、JAWA ブースを設置**2月9日(土)～11日(月・祝)
インテックス大阪

西日本最大級のカーカスタマイズショーである「第23回大阪オートメッセ2019」が2月9日(土)～11日(月・祝)の3日間にわたり、大阪市住之江区のインテックス大阪で開催され、当振興会として今年もNAPAC合同ブース、並びにJAWAブースを出展致しました。

また、JAWA事業部では会員サービスの一環として、商談ブースも出展致しました。

今年の大阪オートメッセは会期初日からこれまで以上の勢いでクルマ好きが会場に足を運び、会期3日間の総来場者数は前年比120.6%の262,277名となりました。

会期初日に行われた開会式のテープカットには、当会より高瀬嶺生副会長(ブリッド)が登壇し、23回目のオートメッセの開幕を祝いました。



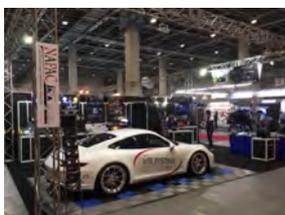
大阪オートメッセ開会式/テープカット風景(右から4番目が高瀬副会長)

インテックス大阪の6号B館に設置したNAPAC合同ブースでは、当会より小倉クラッチ、スマート、ディクセル、TONE、藤壺技研工業、ブリッドが出展。各ブースにトラスやブースサインを設置し一体感を演出し、NAPACの存在を強くPR致しました。

また、同じく6号B館に出展したJAWAブースでは、オートサロンと同じく希望会員77社より154本のアルミホイールを出品。イベントステージではレーシングドライバーの土屋圭一氏、並びに元F1タイヤ開発の浜島裕英氏によるトークショーを開催した他、アンケート回答者を対象としたゲーム大会を行い、VIA登録されJAWA品質認定証が貼付されたアルミホイールの安全性をアピールしました。



小倉クラッチ (NAPAC 合同ブース)



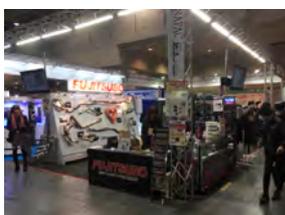
スマート (NAPAC 合同ブース)



ディクセル (NAPAC 合同ブース)



TONE (NAPAC 合同ブース)



藤壺技研工業 (NAPAC 合同ブース)



ブリッド (NAPAC 合同ブース)



JAWA 事業部ブース



トークショー風景



アンケート風景

JAWA 事業部**インドネシア工業省のプトウ・ジュリ・アル
ディカ局長と JAWA 三役がミーティング**

オートメッセ会期中は、同イベントの視察等で来日したインドネシア工業省のプトウ・ジュリ・アルディカ局長をはじめとする幹部と、JAWA事業部の田邊一徳事業副部長(タナベ)、寺田孝佳事業副部長(エンケイ)並びにオートメッセ主催者とのミーティングが行われました。

ミーティングでは、JAWA事業部三役よりインドネシアのホイールに関わる「SNI規格」の規制緩和を要望するプレゼンテーションが行われ、今後もミーティングを重ねていくこととなりました。

